

看護系大学等への進学需要等に関するアンケート 看護職員の人材需要等に関するアンケート 調査結果概要

調査概要

高校2年生および保護者

- 調査期間：令和5年(2023年)8月～10月
- 調査対象：①函館市内、渡島・檜山地域および青森県の高校2年生 7,147人
②函館市内および近郊の高校に通う2年生の保護者 2,168人
- 調査方法：学校を通じ周知を行い、インターネットおよび函館市公式LINEにより回答受付
- 回答率：①高校2年生 38.0% ②保護者 10.1%

医療機関等

- 調査期間：令和5年(2023年)8月～11月
- 調査対象：函館市内において看護職員を配置する病院、診療所、訪問看護ステーション、介護老人保健施設などの施設 476施設
- 調査方法：電子メールまたは郵送により依頼し、インターネット、電子メール、FAX、郵送により回答受付
- 回答率：38.2%

結果概要（まとめ）

高校2年生および保護者

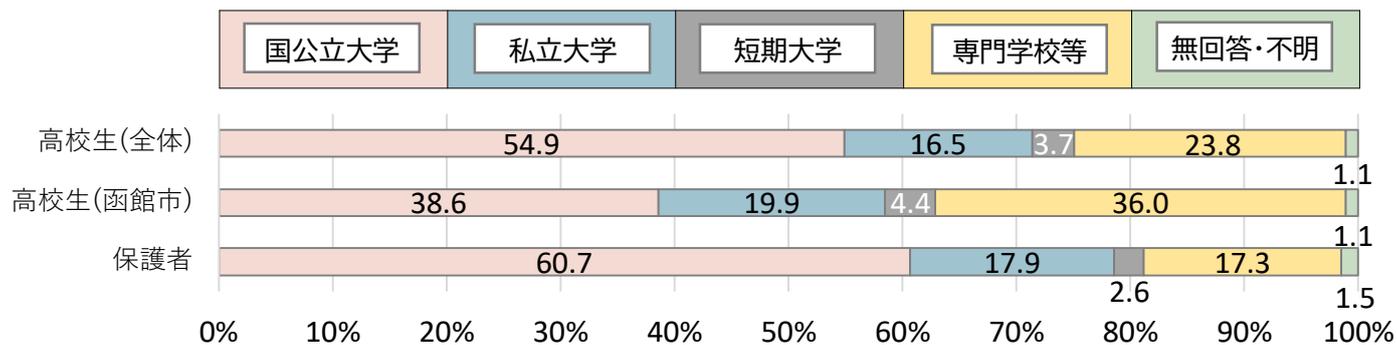
- 高校生(全体)、保護者のどちらも進学先として大学を希望する割合が高いが、高校生(函館市)では専門学校等への進学希望も多い。
- 看護学での進学希望は、高校生(全体)で15.1%、高校生(函館市)で19.7%。
- 看護学での希望進路は、高校生(全体)や保護者では国公立大学の割合が最も高いが、高校生(函館市)では看護専門学校の割合が49.4%と最も高い。
- 進学先や就職先の希望では、保護者は函館市を選択する割合が高く、高校生(函館市)との間で違いがある。
- 函館市内に公立の4年制看護系大学(学部)があったら「ぜひ進学したい(させたい)」または「進学を検討したい(させたい)」と回答した割合は、高校生(函館市)で76.5%、保護者で90.9%。

医療機関等

- 看護職員全体に占める大卒者の割合は4.4%と非常に低い。
- 病院では看護職員が「不足している」と回答した割合が83.3%と非常に高い。
- 病院を除く施設では看護職員が「充足している」と回答した割合が高く、今後の採用方針として「当面採用は行わない」とする割合が約5割となっている区分も多い。
- 4年制の看護系大学を卒業した看護職員の必要性について、いずれの回答区分においても「思う」、「どちらかといえば思う」と回答した割合の合計が5割を超えている。
- 函館市内への4年制の看護系大学(学部)設置の必要性については、全体で52.8%が「必要である」と答えている一方で35.7%が「どちらとも言えない・わからない」と回答している。
- 函館市内に4年制の看護系大学(学部)が設置された場合の卒業生の採用意向については、病院では88.8%が「ぜひ採用したい」「採用を検討したい」と回答している一方、診療所の28.5%、介護老人保健施設の33.3%が「採用は考えない」と回答している。

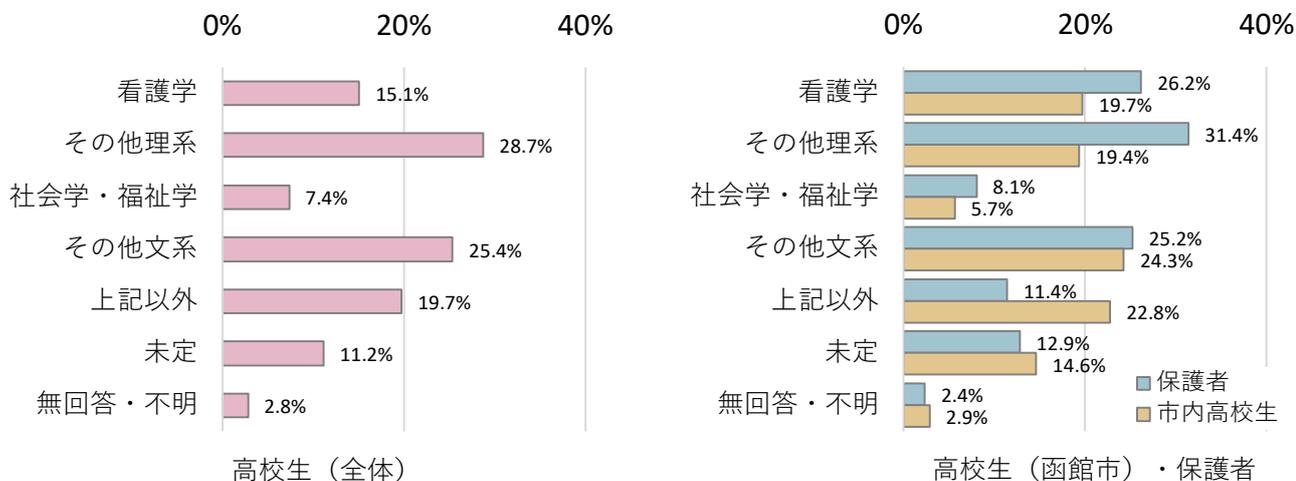
高校2年生および保護者へのアンケート

進学を希望する場合、最も希望する進路はどれですか。



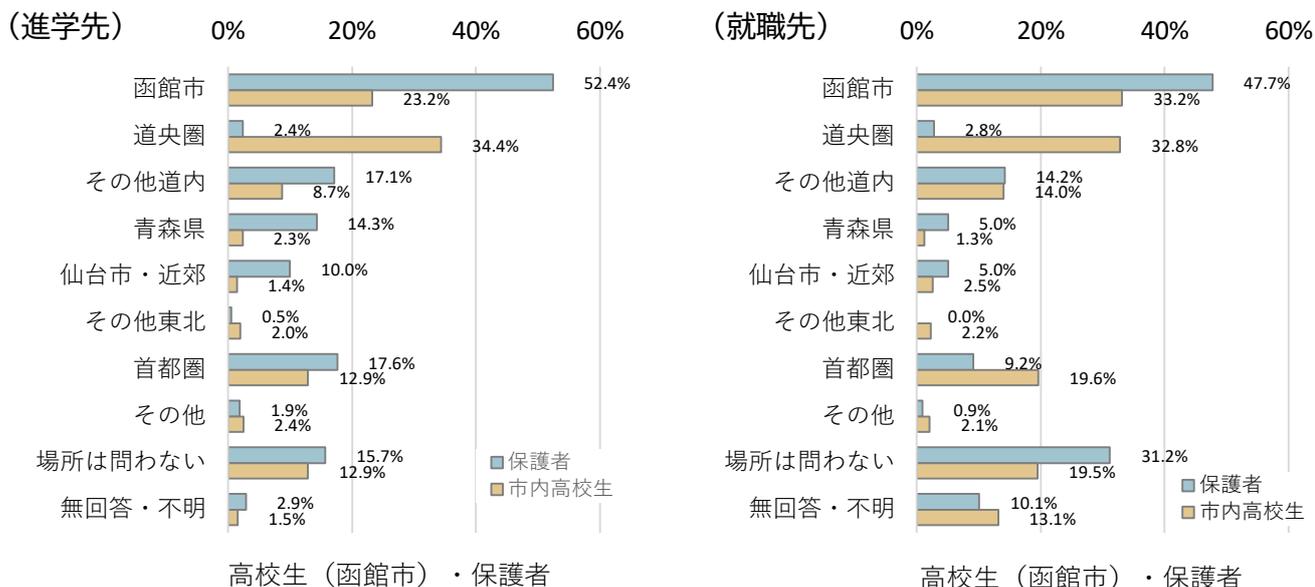
○ 国公立大学への進学希望が最も多く、私立大学も合わせた大学への進学希望がいずれの区分においても5割を超えるが、高校生（函館市）では専門学校等への進学希望も多い。

進学を希望する場合、どの分野を希望しますか。（複数回答）



○ 看護学を希望進学先として回答したのは高校生（全体）で15.1%，高校生（函館市）で19.7%，保護者で26.2%。

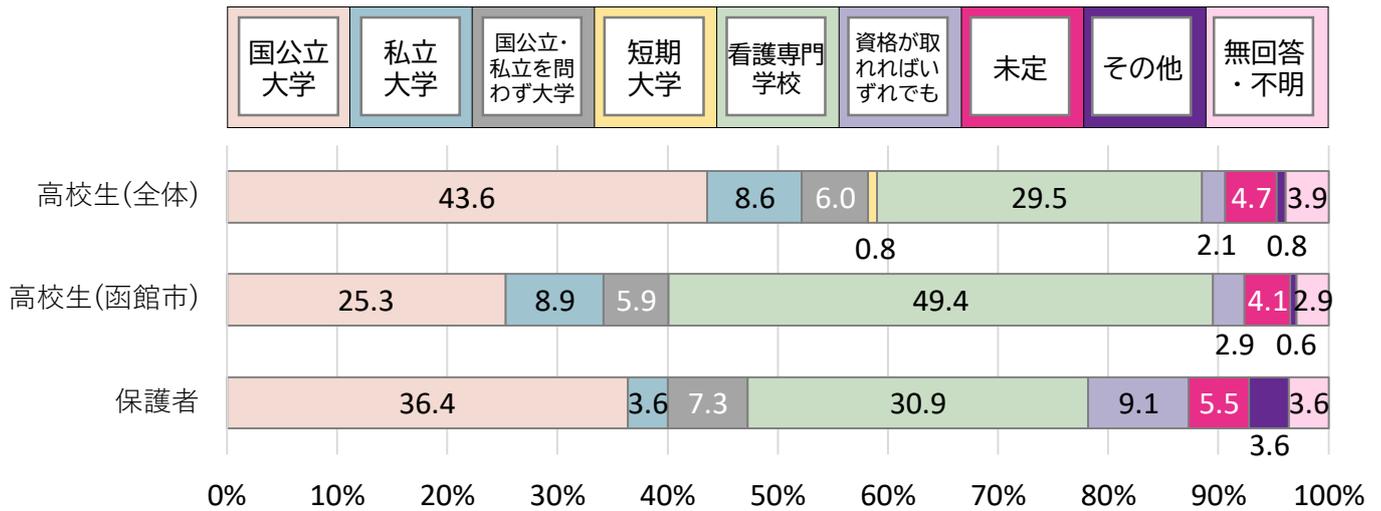
進学先および就職先としてどの地域を希望しますか。（複数回答）



○ 函館市を選択した割合は、保護者では進学先就職先ともに約5割にのぼるのに対し、高校生（函館市）では、進学先で23.2%，就職先で33.2%にとどまっている。

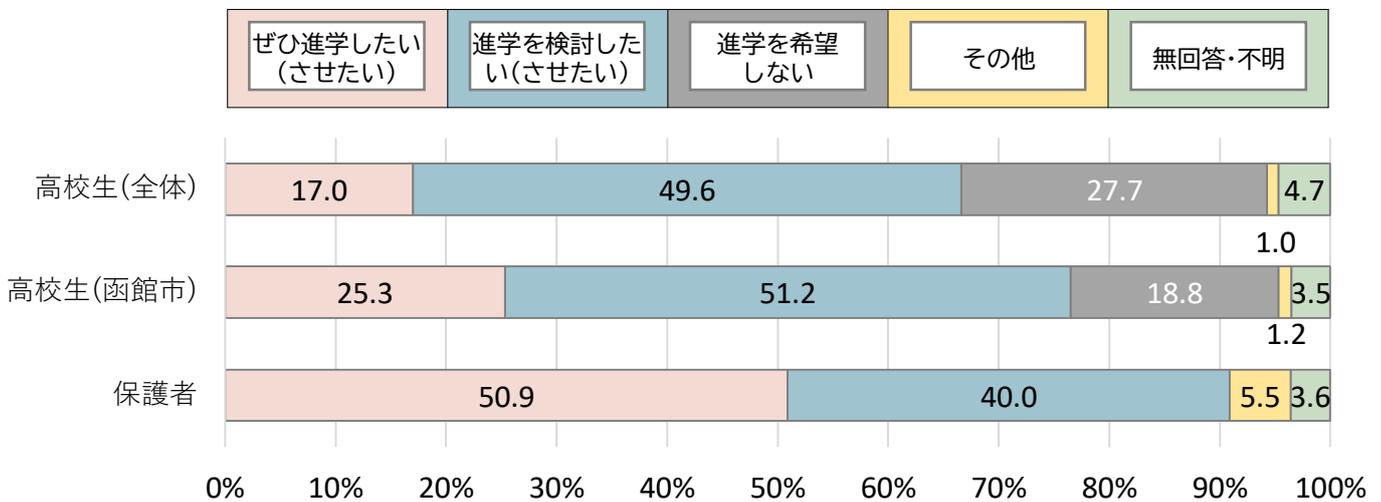
高校2年生および保護者へのアンケート

看護学での進学を希望する場合、最も希望する進路を教えてください。



○ 高校生（全体），保護者では国公立大学が最も多いが，高校生（函館市）では看護専門学校の希望が49.4%と最も多い。

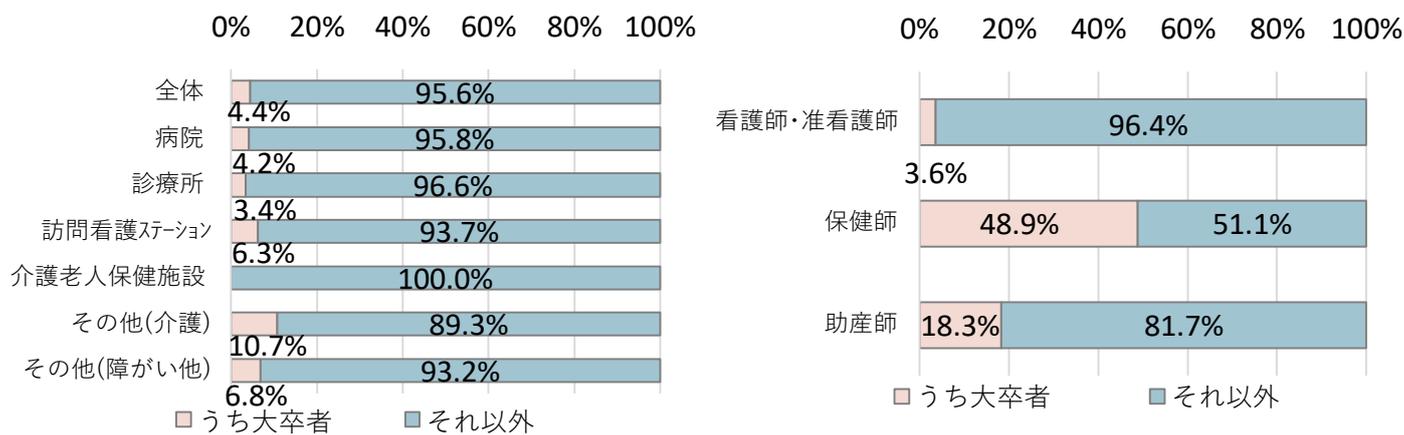
函館市内に公立の4年制看護系大学(学部)があったら進学したいと思いますか。



○ 「ぜひ進学したい」または「進学を検討したい」を選択した割合が，高校生（函館市）で76.5%，保護者では90.9%と高い結果となった。

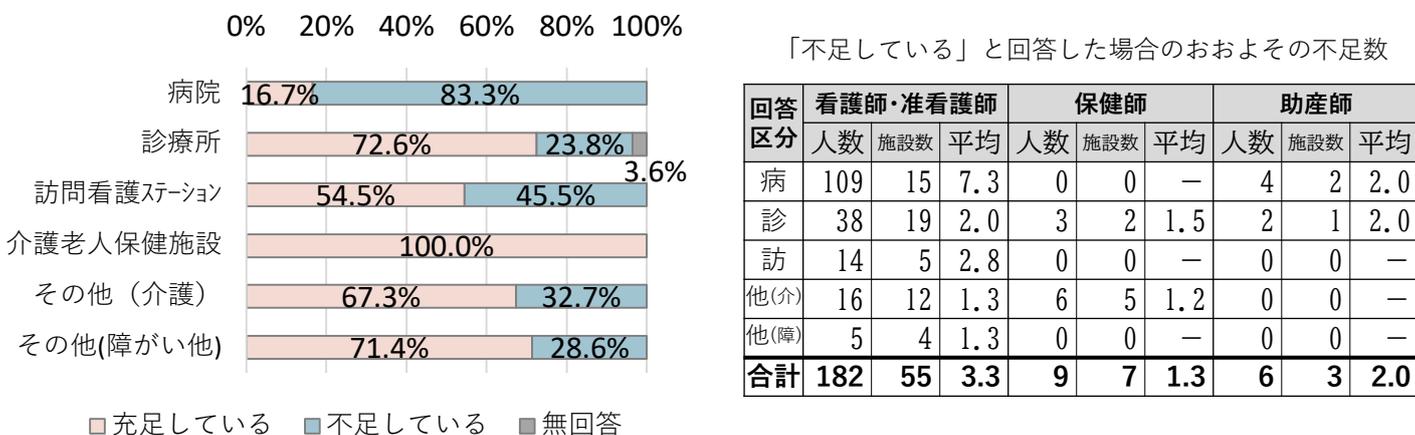
医療機関等に対するアンケート

現在、在職している看護職員のうち大卒者の人数を教えてください。



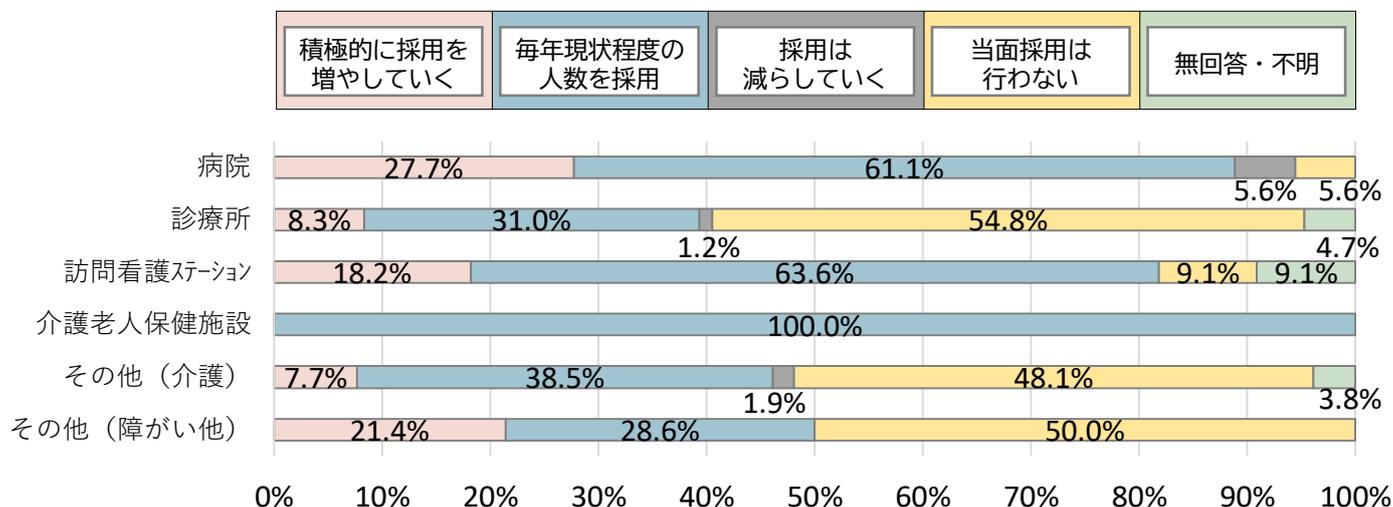
○ 資格を得るために大学を含む指定学校での修学が必要な保健師では約5割が大卒者となっているが、看護職員全体に占める大卒者の割合は4.4%と非常に低い。

現在の貴施設における看護職員の充足状況をどのようにお考えですか。



○ 病院を除く施設では半数以上が「充足している」と回答しているが、病院では「不足している」と回答した割合が83.3%と高く、おおよその不足数は、看護師・准看護師が1施設あたり平均7.3人となっている。

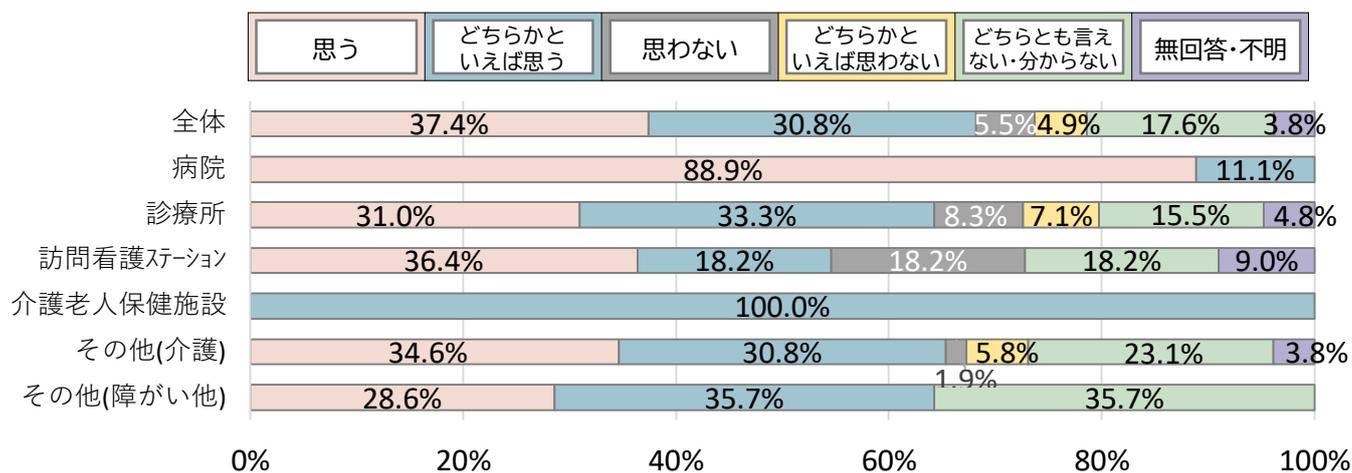
貴施設における今後の新卒看護職員の採用方針を教えてください。



○ 病院では「積極的に採用を増やしていく」と回答した割合が27.7%であった一方、診療所やその他施設では「当面採用は行わない」とする割合が約5割となっている。

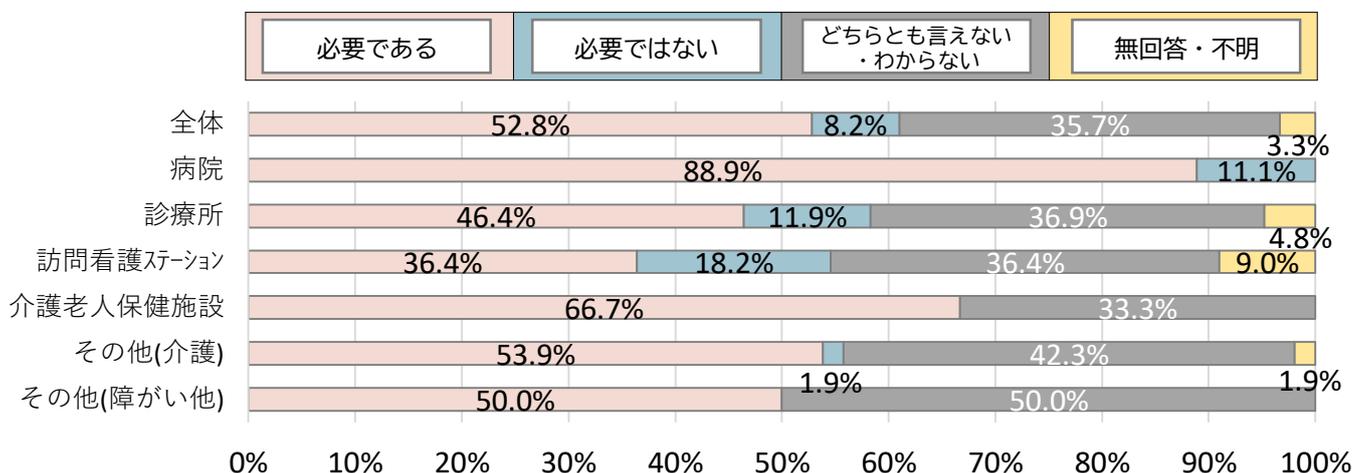
医療機関等に対するアンケート

函館市内の医療機関等に、4年制の看護系大学を卒業した看護職員は必要だと思いますか。



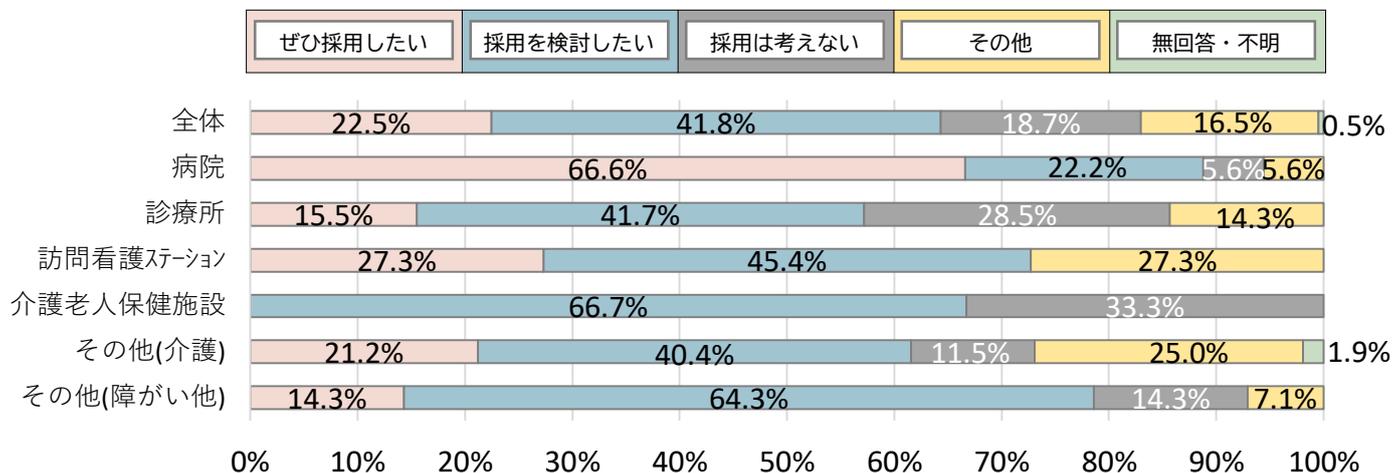
○ いずれの回答区分においても「思う」、「どちらかといえば思う」と回答した割合の合計が5割を超えている。特に病院では全ての施設でそのいずれかを選択している。

函館市内への4年制の看護系大学(学部)設置の必要性をどのようにお考えですか。



○ 全体では52.8%が「必要である」と答えているが、一方で35.7%が「どちらとも言えない・わからない」と答えている。病院では88.9%が「必要である」と答えている。

函館市内に4年制の看護系大学(学部)が設置された場合、卒業生の採用をどのように考えますか。



○ 病院では88.8%が「ぜひ採用したい」「採用を検討したい」と回答している一方、診療所の28.5%、介護老人保健施設の33.3%が「採用は考えない」と回答している。